

2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月8日

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3097 URL https://www.monogatarico.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加治 幸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・成長戦略担当 (氏名) 津寺 毅 TEL 0532-63-8001
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	49,302	11.9	3,685	17.6	3,703	△1.4	1,865	△19.5
2019年6月期第3四半期	44,050	12.7	3,131	9.8	3,759	17.9	2,319	16.0

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 1,858百万円 (△19.5%) 2019年6月期第3四半期 2,311百万円 (15.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	309.80	308.75
2019年6月期第3四半期	385.51	384.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	35,595	18,896	52.8
2019年6月期	32,735	17,681	53.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 18,814百万円 2019年6月期 17,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2020年6月期	—	55.00	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2 2019年8月9日に公表した数値から未定へと修正いたしました。詳細については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	6,024,922株	2019年6月期	6,020,382株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	881株	2019年6月期	881株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	6,020,733株	2019年6月期3Q	6,016,683株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化による中国の景気減速懸念等、海外における不安定な政治動向の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気の先行きはより一層不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原材料価格の高止まりや慢性的な人手不足を背景とした人件費の上昇に加え、消費税率の引き上げによる消費マインドの停滞、台風などの自然災害及び新型コロナウイルス感染症拡大による売上高への影響など依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進め、国内において直営店26店舗、フランチャイズ店4店舗、海外において2店舗の出店を実施しました。また、既存店舗の内装の変更、新メニュー開発、顧客の獲得と固定化に取り組むなど店舗の収益改善に向けた施策を進めるとともに、「きゃべとんラーメン」「熟成焼肉 肉源」「牛たん大好き 焼肉はっぴい」を始めとする新業態開発・育成も進めて参りました。さらに、人材の採用や教育面の強化、海外事業の強化等、中長期的な成長の実現に向けた基盤づくりにも、引き続き取り組んで参りました。

上述の取組みにより、国内既存店(注)の売上高は、直営店においては前期比4.3%増、フランチャイズ店においては3.0%増と堅調に推移しました。

また、当第3四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は535店舗(直営店301店舗、フランチャイズ店222店舗、海外12店舗)となりました(後掲表1)。

以上により、売上高は49,302,383千円(前年同期比11.9%増)、営業利益3,685,298千円(前年同期比17.6%増)、経常利益3,703,152千円(前年同期比1.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,865,209千円(前年同期比19.5%減)となりました。

(注) 国内既存店とは、開店から18ヶ月以上経過している国内の店舗を対象としております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、当社グループの事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

①焼肉部門

当第3四半期連結累計期間中において、「焼肉きんぐ」は12店舗の出店(直営店9店、フランチャイズ店3店)、「熟成焼肉 肉源」は1店舗の出店(直営店1店)を実施しました。これにより、焼肉部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は248店舗(直営店150店、フランチャイズ店98店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は25,548,714千円(前年同期比13.6%増)となりました。

②ラーメン部門

当第3四半期連結累計期間中において、「丸源ラーメン」は8店舗の出店(直営店8店)、「きゃべとんラーメン」は1店舗の出店(直営店1店)を実施しました。これにより、ラーメン部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は159店舗(直営店69店、フランチャイズ店90店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は7,134,068千円(前年同期比30.0%増)となりました。

③お好み焼部門

当第3四半期連結会計期間末におけるお好み焼部門の店舗数は35店舗(直営店16店、フランチャイズ店19店)であります。

以上の結果により、直営店の売上高は1,535,358千円(前年同期比19.4%減)となりました。

④ゆず庵部門

当第3四半期連結累計期間中において、「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」は8店舗の出店(直営店7店、フランチャイズ店1店)を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は77店舗(直営店62店、フランチャイズ店15店)となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は9,139,175千円(前年同期比14.3%増)となりました。

⑤専門店部門

当第3四半期連結会計期間末における専門店部門の店舗数は4店舗(直営店4店)であります。

以上の結果により、直営店の売上高は779,638千円(前年同期比0.0%増)となりました。

⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第3四半期連結累計期間中にフランチャイズ店4店舗の出店を実施しました。当第3四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は222店舗となりました。

以上の結果により、売上高は3,520,247千円（前年同期比17.3%増）となりました。

⑦その他部門

主に連結子会社である物語（上海）企業管理有限公司による取組みであります。当第3四半期連結累計期間中に2店舗の出店を実施しました。これにより、その他部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗となりました。

売上高は1,645,182千円（前年同期比31.9%減）となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

(単位：店)

	直営（国内）	F C（国内）	海外	2020年3月末 店舗数
焼肉部門	150	98	—	248
ラーメン部門	69	90	—	159
お好み焼部門	16	19	—	35
ゆず庵部門	62	15	—	77
専門店部門	4	—	—	4
その他部門	—	—	12	12
合計	301	222	12	535

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は35,595,005千円となり、前連結会計年度末と比較して2,859,283千円の増加となりました。これは主に現金及び預金が677,232千円増加したこと、売掛金が664,188千円増加したこと、設備投資により有形固定資産が1,006,500千円増加したこと、新規出店用地の契約により差入保証金が262,341千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は16,698,595千円となり、前連結会計年度末と比較して1,644,617千円の増加となりました。これは主に買掛金が629,597千円増加したこと、長期借入金が447,500千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は18,896,410千円となり、前連結会計年度末と比較して1,214,666千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が1,263,158千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は52.8%（前連結会計年度末は53.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、物語（上海）企業管理有限公司（12店）の一時休業（2020年1月27日から2月末日）に加え、2020年4月6日に開示いたしました「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた直営店舗一時休業に関するお知らせ」に記載のとおり、国内直営店舗全店（302店）を休業しております。

これらのことから、売上高が大きく減少することが想定されますが、その終息時期の見通しをたてることが現時点で難しく、通期連結業績予想を合理的に算定することが困難な状況にあります。このような状況を鑑み、通期連結業績予想を未定といたしました。

なお、期末配当予想額については、現段階で継続配当の方針から従来の発表どおりとし、変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,260,109	6,937,341
売掛金	1,131,283	1,795,472
商品及び製品	323,173	394,688
原材料及び貯蔵品	70,446	74,786
その他	1,146,432	1,368,702
貸倒引当金	△364	△629
流動資産合計	8,931,080	10,570,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,136,182	17,176,366
その他(純額)	2,741,391	2,707,708
有形固定資産合計	18,877,574	19,884,074
無形固定資産		
	296,284	317,421
投資その他の資産		
差入保証金	3,853,672	4,116,013
その他	777,109	707,134
投資その他の資産合計	4,630,781	4,823,147
固定資産合計	23,804,640	25,024,643
資産合計	32,735,721	35,595,005
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,055,687	2,685,285
未払法人税等	697,226	743,069
株主優待引当金	22,783	37,717
賞与引当金	—	228,283
ポイント引当金	43,703	99,294
その他	5,298,630	5,513,261
流動負債合計	8,118,031	9,306,911
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,870,870	4,318,370
退職給付に係る負債	329,159	356,084
資産除去債務	454,293	497,281
その他	1,281,623	1,219,947
固定負債合計	6,935,946	7,391,683
負債合計	15,053,977	16,698,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,719,616	2,725,640
資本剰余金	2,584,788	2,539,631
利益剰余金	12,340,480	13,603,638
自己株式	△1,899	△1,899
株主資本合計	17,642,986	18,867,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,101	2,246
為替換算調整勘定	△50,064	△55,237
退職給付に係る調整累計額	△2,299	771
その他の包括利益累計額合計	△49,262	△52,218
新株予約権	73,709	81,617
非支配株主持分	14,310	—
純資産合計	17,681,743	18,896,410
負債純資産合計	32,735,721	35,595,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	44,050,778	49,302,383
売上原価	15,211,696	16,993,855
売上総利益	28,839,081	32,308,527
販売費及び一般管理費	25,707,533	28,623,228
営業利益	3,131,547	3,685,298
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,606	11,925
受取賃貸料	10,020	8,833
協賛金収入	626,791	16,438
その他	28,457	70,213
営業外収益合計	677,875	107,410
営業外費用		
支払利息	16,565	13,368
為替差損	15,288	41,221
賃貸収入原価	7,072	7,051
その他	10,955	27,914
営業外費用合計	49,882	89,556
経常利益	3,759,540	3,703,152
特別損失		
固定資産除却損	69,550	55,021
減損損失	146,403	162,349
店舗閉鎖損失	57,399	279,930
店舗閉鎖損失引当金繰入額	36,551	—
その他	—	18,589
特別損失合計	309,905	515,891
税金等調整前四半期純利益	3,449,634	3,187,261
法人税等	1,124,578	1,325,427
四半期純利益	2,325,056	1,861,833
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,572	△3,375
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,319,483	1,865,209

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	2,325,056	1,861,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,449	△855
為替換算調整勘定	△15,040	△5,246
退職給付に係る調整額	3,002	3,071
その他の包括利益合計	△13,487	△3,029
四半期包括利益	2,311,569	1,858,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,306,090	1,862,252
非支配株主に係る四半期包括利益	5,478	△3,448

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社は、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。